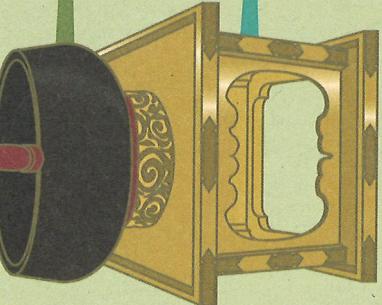


「金」

「鐘」とも「かね」ともいいます。
お勤めをするときには仏具で、
お勤めの初め・返り・終わりの
ところで鳴らします。お勤め以外
のときは鳴らしませんので、仏供
(お仏食)を備えたときや、仏前
に手を合わせるたびに鳴らすもの
ではありません。

ばち お勤め以外のとき、
振は鐘の中の手前におさめます。

振

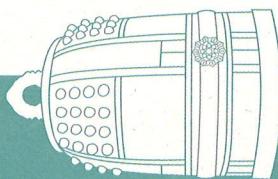


鐘台
りんたい

〒460-0016
名古屋市中区橘2-8-55
☎ 052(321)9201
f 052(321)3184

<http://www.ohigashi.net/>

真宗大谷派
古名院



「鐘」は
何のために
あるのですか?

4

真実の教えに出遇う

イラストは実物と異なる部分がございます。



07.12.
10,000

h i g a s h i b e t s u i n

「お墓」は

何のためにあるのですか？

田代俊孝

親鸞聖人は、「私が死くなったら、遺体を賀茂川の魚にあたえてください。葬儀を一大事と考えないで仏法の信心を根本としてください。」

とおっしゃったと、ひ孫の覚如上人が伝えています。淨土真宗では、立派な葬儀、立派なお墓よりも信心をいただくことがより大事なことだと考えます。

ですから、親鸞聖人が亡くなつた後も、一応、御廟（お墓のお堂）ができるが、やがて、それは信心をいたく、聞法の道場となつていきます。だから、聞法の根本道場たる本山を「真宗本廟」と申します。

皆さんのご家庭では、お内仏のほかに、お墓をもたれますが、それは、先祖の靈をしづめるためとか、

たたりの及ばぬようにするというのではなく、亡きご先祖を諸仏と仰いで、報恩感謝するためのものであります。もっといえば、信心のご縁をいただくためのものです。

親鸞聖人のお弟子の真仏上人が亡くなつた後、お弟子たちが報恩塔をたてられました。今もそれが、埼玉県に残っています。石の板碑で正面に大きく「南無阿弥陀仏」と書いてあります。それが真宗のお墓

折々に、お墓の前に立つて、亡き人を偲んで信心獲得の仏縁をいただき、報恩感謝するのです。すると、あなたの“いのち”が連綿とつながる“いのち”であることを実感するでしょう。また、静かに耳をそばだてるとき、父母の尊い願いが聞こえてくることでしょう。



(たしろしゅんこう 同朋大学大学院教授)